

TAC「実務補習セミナー」2025 資料

TAC 中小企業診断士講座講師 合同会社タカク 代表 中小企業診断士 高久 広

※実施地区・指導員によって異なる場合がありますのでご了承ください

※実務補習指導員を10年以上担ってきた立場でお話します

(1) 実務補習とは

①実務補習の位置付け

- ・2次試験に合格後、3年以内に実務補習を15日以上受けるか、診断実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士として中小企業庁に登録できる。実務補習は最も有効な手段の一つ！

【令和7年からの新設定コース】

- ・15日間コース：1企業目8日間+2企業目7日間の2企業を診断。これを1回受講で登録OK
- ・8日間コース：1企業につき8日間×1企業を診断。これを2回受講して登録OK

令和6年4月

令和6年度からの中小企業診断士実務補習に関するお知らせ

一般社団法人 中小企業診断協会

中小企業診断士第2次試験に合格された方は、合格後3年以内に、「実務に従事した日数」または「実務補習を受講した日数」の合計が「15日以上」を満たすことにより、中小企業診断士として経済産業大臣に登録の申請を行うことができます。

令和4年4月1日付けで「中小企業診断士の登録等及び試験に関する規則」の一部が改正され、実務補習における「診断又は助言を行う対象中小企業者数」が「3以上」から「2以上」に改定されました。（日数が「15日以上」は変更なし）

これを踏まえて指導内容を充実させるため、令和6年度の実務補習より下記のとおりコースを変更いたします。

1. 設定コースの変更

コース	令和5年度まで	令和6年度以降
15日間コース	1企業につき5日間×3企業を診断 … これを1回受講	1企業目8日間+2企業目7日間の2企業を診断 … これを1回受講
5日間コース	1企業につき5日間×1企業を診断 … これを3回受講	令和7年2月実施をもって廃止
8日間コース	コースの設定なし	1企業につき8日間×1企業を診断 … これを2回受講

日本中小企業診断士協会連合会 HP より https://www.jf-cmca.jp/attach/jitumu_hoshu/R6/osirase.pdf

※従来は5日間で1社×3回受講で登録→1社あたりの時間が増えて、より十分な時間をかけた企業診断および報告書づくりが可能になる。逆に言うと手を抜けなくなる！

②実務補習の特徴

- ・受講生の大半が当年度の2次試験の合格者であり、目的意識やレベル感が同じである
- ・企業の一部を診断するのではなく、経営全般を多面的にチームで診断する（このような経験は貴重）
- ・幅広く効果的な診断経験を積むために、15日で異なる企業、業態を2社診断する
- ・実務補習の進め方は自主性を尊重するものの、経験豊富な指導員の指導のもと、実践的な実務を行う
- ・補習という位置付けではあるが、指導員は企業支援の一つの手段として実施しており、また企業も大

いに期待をしている場合がある（これは高久の場合。指導員によって実務補習に対する考え方や指導方法は異なる？）

- ・診断協会は、実務補習の補習内容や指導内容の品質向上に努めている
- ・実務補習は伝統的かつ独特なグループ診断という特徴がある。これを経験したからこそ、今後「阿吽の呼吸」が可能になる。よって診断士として活躍したい場合、一度は必ず受講すべき！

③実務補習「8日間」の内容

- ・基本的に、無理のない日程を選択して申し込む（15日間コースまたは8日間コースを選択）
- ・8日間コースは、2月のほか、7、8、9月にもある。翌年の2月の受講も可能。ただし意欲は下がる？
- ・15日間コースは、一気に取り組むため、高いモチベーションのままあっという間！余計なことを考えている暇はない！なお各回の指導員が変わる場合がある
- ・1週間前に指導員からメールで連絡が入る。メールに注意！
その後、対象企業の外部環境や成功事例など可能な限り徹底的に調べ上げる。非常に重要！

④令和8年2月実施（東京）「8日間コース」の例（15日間コースも前半の8日間は同じ）

（注）実施地区、指導員によって多少の違いがあります

- ・1日目 2/19 木 オリエンテーション →班別打合せ
企業訪問（ヒアリング）、役割分担および今後の進め方、方向性について協議
- ・2～5日目 2/20（金）、21（土）、22（日）、23（月・祝）
企業再訪問および調査（顧客調査、競合調査、従業員調査など）
終日ミーティングで戦略、各方向性の取決めなど。
★調査に基づいた提案の品質は高く説得力あり
※必要に応じて再ヒアリングなど
※自主作業期間が勝負どころ！各自9割以上に仕上げることを目標に！
※オンラインミーティングは有効（強制ではない）
- ・6日目 2/28（土） 摺り合わせ、各役割担当の内容の相互チェック、全体調整、報告書マージ
- ・7日目 3/1（日） 最終確認、報告書完成
- ・8日目 3/2（月） 最終チェック、報告会リハーサル、報告会、診断協会へ修了報告
※診断協会への報告書提出は電子媒体のため印刷製本不要（実施地区によって異なる場合あり）

（２）実務補習の心構え

①注意事項

- ・実務補習テキストや受講心得などに目を通し、充実した実務補習となるように準備を徹底する
- ・中小企業診断士倫理規定を遵守する（企業への接触 NG、服装や態度、個人情報など）
- ・守秘義務の徹底（ブログ、FB等の企業名の掲載 NG。受講者の身分は名乗れない）
- ・グループ行動、チームワーク、協力・協調、思いやりの精神
- ・すべて決められた必要項目、様式、書式のとおり報告書を作成する（形式重要）
- ・診断先企業の問題解決、課題達成、成長を究極の目的とする
- ・勉強させてもらうという謙虚な姿勢と企業の役に立ちたいという強い志（ただし無理はしない）
- ・いかなる理由があっても休むと登録できなくなる。インフル、コロナなどに要注意！
（この機会に高久は禁煙した！）

②実践編

- ・業界動向や外部環境、対象企業に関する情報、競合などを1週間で徹底的に調べ尽くす
- ・有効な資料やデータ
 - 1 「業種別審査辞典」 大きな図書館、中小企業診断協会にある
 - 2 「日本公庫 小企業の経営指標調査」 https://www.jfc.go.jp/n/findings/shihyou_kekka_m_index.html
 - 3 経営革新計画認定の事例集、各業界の組合の Web サイトなど参考になる情報を駆使する
- ・自分の役割分の完成だけを考えない。診断ニーズと課題をきっちりとらえて企業の成長を優先する
- ・ノートパソコンは必須。iPad だけは NG。報告書をマージする場合 Mac など互換性に注意
- ・Microsoft Office の Word、Excel は必須（できれば最新）。報告会は報告書ベース（PPT 不要）
- ・Dropbox、OneDrive などのクラウドストレージ環境、当たり前ネット接続環境は必須！
- ・Zoom などオンラインミーティングを有効活用する
- ・リーダーを率先してやってみる！真摯に楽しく！
- ・知識ではなく知恵を使い、実現可能な提案をする
- ・言うのは簡単！実行するのは企業！具体的有効策でなければ無意味！（そのような診断士が多いので）
- ・実務補習の内容や進め方で違和感があつたら事務局に問い合わせる！（多様な事例あり）

（３）実務補習終了後について

①絆と感謝

- ・実務補習のメンバーとの絆
- ・TAC の勉強仲間や講師との絆
- ・応援、サポートしてくれた職場や家族への感謝

②中小企業診断協会への入会

- ・合格した1年目に入会する意義（フレッシュ感は最初だけ？）
- ・都道府県協会ごとに新入会員歓迎会等のイベントあり。懇親会に参加しなければ無意味！
- ・診断協会の登録グループの研究会に体験入会する。これも懇親会まで参加！
- ・神奈川県中小企業診断協会登録グループ「つぎ夢経営研究会」に体験参加する！（会長：高久）
※診断協会に未加入でも、東京協会など他の協会会員でも、つぎ夢への入会 OK！
2026 年 2 月 14 日（土）18：15～かながわ県民活動サポートセンター（横浜駅西口ヨドバシ裏）
（つぎ夢合格祝賀セミナーおよび祝賀パーティーあり！参加無料。懇親会のみ会費 4000 円程度）
つぎ夢は更新ポイント獲得案件が多数あり！ 現在も 6 ポイント案件進行中！「つぎ夢」で検索！
- ・企業内診断士であっても、中小企業診断士としての中小企業支援の実務に積極的に参加しよう！
- ・ただし「ひよ子喰い」に注意！

③TAC との今後の関わり

- ・ダブルライセンス（税理士、社労士、行政書士など）
- ・教室講師、教材講師、添削講師、講師室勤務など（企業内診断士も可）
- ・その他、ガイダンスフォローや口述模擬面接のサポートスタッフ、その他多数あり！

以上